

**～あなたの生活に役立つ情報が満載の新潟鍼療センターからのたよりです～**



挿絵 が含まれている画像

自動的に生成された説明

発行/ 新潟鍼療センター 〒950-0087　新潟市中央区東大通2-10-13　☎025-244-1189

ホームページ　http://hari-niigata.com　　Ｅメール　higashi-oodoori@hari-niigata.com

こんにちは、院長の山田です。夜空に美しい天の川がかかる季節になりました。暑さが増してくると少しでも涼を取ろうとしますが、**怪談**も日本の夏の風物詩です。1825年に歌舞伎劇場の中村座で**「」**が初めて上演されたことから、**７月２６日は「幽霊の日」**に制定されています。の娘の「お岩」が夫に裏切られて亡くなり、幽霊になって復讐をはたすという、実際に江戸の町で起きた事件をもとにした話です。歌舞伎だけでなく映画や落語の題材にもなっていて、バージョンもたくさんあります。**日本三大怪談**には**「四谷怪談」「皿屋敷」「」**が挙げられ、登場する幽霊は、それぞれ「お岩さん」「お菊さん」「お露さん」。日本の幽霊といえば白装束を身に着けて両手首を胸元のあたりで前に曲げたポーズで、足元はぼやけている姿を想像します。しかし江戸時代中期頃までは、能で演じられる幽霊や浮世絵に描かれた幽霊にも足がありました。実は、**日本の幽霊に足がない理由は「東海道四谷怪談」に由来**しているそうです。初代（1744～1815）がお岩さん役を演じる際に、**長い裾の着物で足を隠してすり足で歩くという演出**がありました。その姿が観客からは足のない幽霊に見えてとても恐ろしいと評判になり、それ以来日本の幽霊には足が無いということになったそうです。海外にも幽霊や怪物の話はたくさんありますが、足が無いのは日本だけですよね。所変わればといいますが、ほかにも面白い話があります。幽霊大国と呼ばれるほど心霊スポットや超常現象が多い**イギリス**では、なんと**「幽霊保険」**があるとか。保険会社「GRIP」が提供している保険で、**幽霊に襲われてケガをして**

**しまった時の治療費などが保障されます**。保障を受けるには**幽霊に襲われたという証明**をしないと

いけないので、なかなか難易度は高そうですね。涼しさが持続するわけではありませんが、怖い思い

をすると交感神経に作用して鳥肌が立ったり体が冷たくなったりします。暑い夏の思い出の一つとして、ホラー映画やお化け屋敷で背筋をゾクッとさせてみるのもいいかもしれません。新潟鍼療センター院長　山田敏夫

新潟鍼療通信









